TS-10019

OPI-4012

Wireless 1D/2D Scanner

取扱説明書

（初　版）

株式会社 オプトエレクトロニクス
OPTOELECTRONICS Co., Ltd.

・本仕様の内容は、改良の為予告なく変更する場合があります。

改版履歴

ＤＯＣ＿ＩＤ：TS10019
型　　名　　：OPI-4012
文書管理番号：DM-1004013

版　数	日　付	変更箇所	内　容
初 版	2010/06/30		(初版発行)

はじめに

このたびはワイヤレス 2 次元バーコードスキャナ OPI-4012 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用に先だって、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機が十分な性能を発揮できますよう、正しい取り扱いを
お願い致します。

本書では、本機をご使用になる上での、基本的な取り扱い方法について説明しております。
本機の仕様、無線インターフェイス以外の設定等につきましては仕様書及びユニバーサルメニューブックをお読みください。

★ おことわり

・本書は間違いや、誤記の無いように注意して編集しております。万一、誤記や記載漏れがあった場合でも、
それに起因するお客様の直接、間接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより、予告無く変更することがあります。
・本文中の以下の用語について
●Windows は米国 Microsoft 社の商標です。
●その他の社名及び商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

運用に関しましては事前に実機によるテストを十分行って頂けますようお願いします。

目次

1. 安全上のご注意 4

2. 取り扱い上のお願い 7

3. 梱包内容の確認 9

4. 各部の名称と機能 10

5. ご使用にあたって 12

6. バーコードの読み方 14

7. 無線接続について 15

8. 無線設定手順 29

9. 出荷時の設定 21

10. 設定用メニューバーコードについて 23

1. 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この注意事項が守られず取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うに至る切迫した状態が想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■本機について

⚠危険

禁止

可燃性物質(ガス、火薬等)が発生する場所では使用しない。
破裂 ・発火のおそれがあります。

⚠警告

禁止

火中に投入しない。
破裂による火災やけがの原因となります。

禁止

機器に異物を入れない。
ショートや発熱により、火災や感電のおそれがあります。

禁止

歩行中または運転中に操作しない。
転倒や交通事故などの原因になります。

分解禁止

分解したり改造したりしない。

禁止

次のような場所で使用しない。
火災、感電、故障、無線干渉の原因になります。
・直射日光が長時間当たる場所
・湿気が異常に多い場所や水を使う場所
・暖房機器などの発熱部の近く
・電子レンジや医療機器、構内無線局及び特定小電力無線局の付近

禁止

次のような装置、環境に接続して使用しない。
無線干渉によって周囲の機器に影響し、けがをする原因や、物的損害が発生する原因となることがあります。
・人体の保護を目的とした医療機器や安全装置
・重大な損害が懸念される環境

⚠注意

禁止

不安定な場所に置かない。
機器の落下などにより、けがなどのおそれがあります。

禁止

雨や水しぶきがかかる場所では電池ケースカバー蓋を開けない。

■充電池について

⚠警告

禁止

分解したり、改造したりしない。

電池を分解し、飛散した内容物が目に入ると、失明・けがのおそれがあります。

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしない。

電池が発熱、破裂するおそれがあります。

禁止

電池をショートさせない。

電池の（＋）（－）端子に金属（ネックレス、ヘアピン等）が触れると、一度に大きな電流が流れ電池を弱らせるだけでなく、破裂するおそれがあります。

強制

電池の向きは、電池ラベルに指示されたとおり正しく入れる。

電池が液漏れ、発熱、破裂するおそれがあります。

強制

万一電池の液が目に入った時はきれいな水で洗った後直ちに医師の治療を受けてください。

⚠注意

強制

本機が動作しなくなった場合は速やかに電池を取り外してください。

不要となった電池は地域で定められた条例に従って、処理してください。

強制

長期間使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。

電池からの液漏れで製品が腐食し、故障の原因となります。

2. 取り扱い上のお願い

2. 1 本機を正しくご使用いただくために、次の点にご注意ください。

・湿度の高い場所や、ほこりの多い場所に放置しないでください。
・寒い場所から暖かい場所へ移すと結露することがあります。万一結露した場合には付着した水滴が蒸発するまで、本機の使用を控えてください。
・静電気の起こりやすい場所(じゅうたんを使用しているところ)や、テレビ・ ラジオなど磁気を発生する機器の近くには置かないでください。
・本機は精密機器ですので、ていねいにお取り扱いください。衝撃を加えたり、落としたり、本体の上にものを置いたりしないでください。
・本機は柔らかい布でからぶきするか、中性洗剤にひたした布をかたくしぼってから、かるくふいてください。(シンナー等の揮発性のものは絶対に使用しないでください。)
・長時間日光に当たる場所や高(低)温になるところには放置しないでください。
・雨や水などが、かからないようにしてください。

2. 2 無線設備について

・本機は電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、
特定無線設備の工事設計の認証を取得済みの製品です。その為、日本国内においては無線局の免許は必要ありません。

法律により次の行為は禁止されています。 ・改造及び分解 ・認証証明ラベルの剥離

2. 3 Bluetooth 無線技術仕様について

・Bluetooth は、その商標権者が所有している商標であり、株式会社オプトエレクトロニクスはライセンスに基づき使用しています。
・Bluetooth 通信機能を利用して通信を行うには、相手側も同一のバージョンの Bluetooth 機能を搭載しており、同一の仕様(プロファイル)に対応している必要があります。
・本機は、Bluetooth 標準規格に準拠していますが、接続確認済みの機器以外との接続は保障出来ません。
・Bluetooth 通信機能を搭載した機器が使用する電波帯(2.4GHz)は、さまざまな機器が共有して使用しています。そのため、同じ電波帯を使用する機器からの影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
・本機が使用する電波帯(2.4GHz 帯)は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、同じ電波帯を使用する機器からの影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
・機器間の障害物、電波状況、相手機などにより、通信速度や通信距離は異なります。
・本機内部にはアンテナが搭載されています。極端に金属体に接近させると通信に影響を与える可能性があります。

2. 4 使用周波数帯について

本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。下記事項に注意して使用してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と呼ぶ)が運用されています。

・本機の Bluetooth 通信機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、すみやかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
・その他不明な点やお困りのことは起きたときは、弊社営業にお問合せください。

◎万一の故障、事故、修理および電池交換時の際のデータ保護、ならびに損害の保証について、弊社では一切その責任を負いかねますので、ご注意ください。

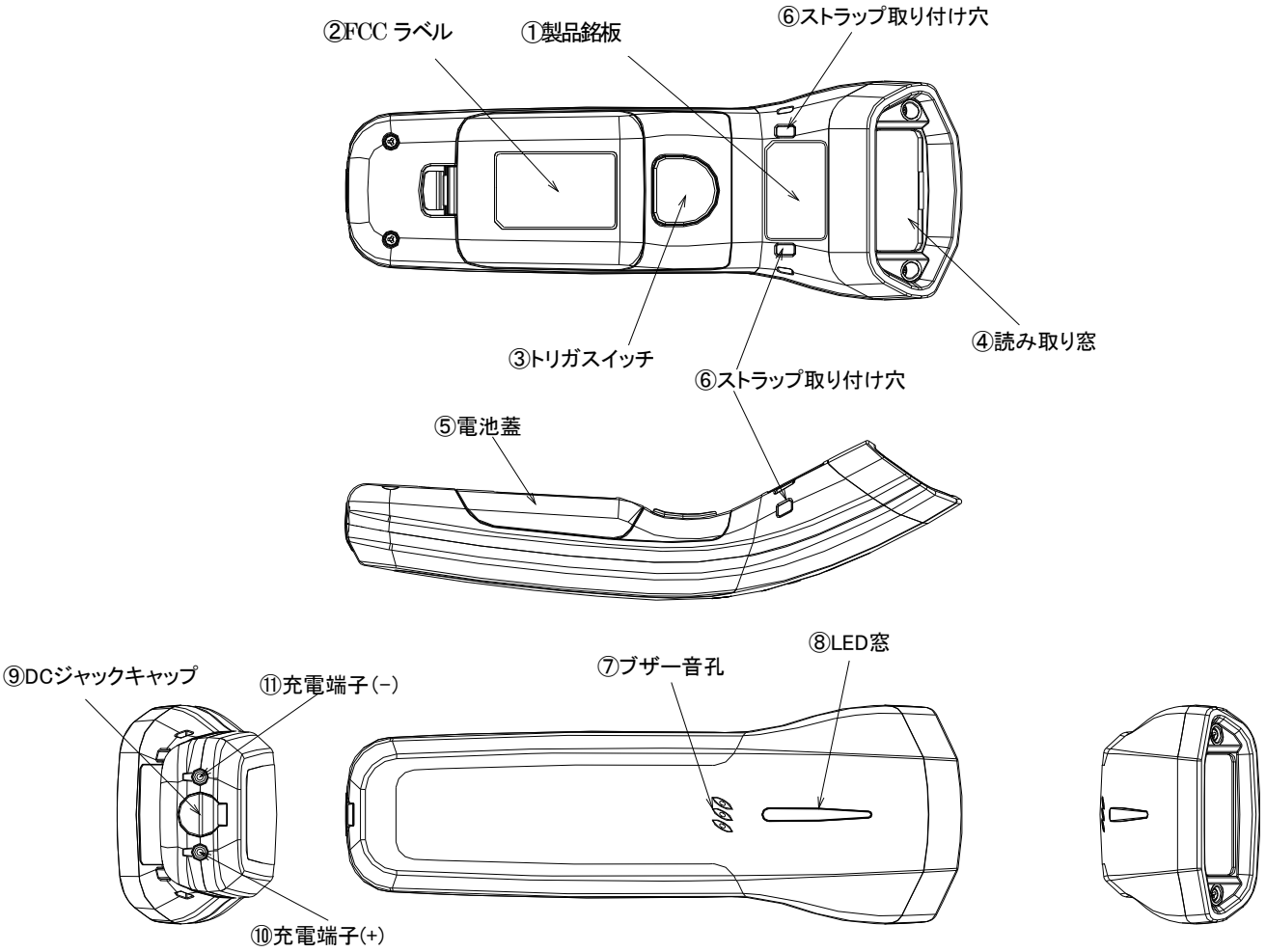
3. 梱包内容の確認

お買い上げいただいた本機の梱包内容は、下記のようになっております。ご確認の上、万一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店、または弊社までご連絡ください。

・OPI-4012（本機）※電池は取り付けられております
・ハンドストラップ
・・取扱説明書(本書)
・専用 AC アダプタ

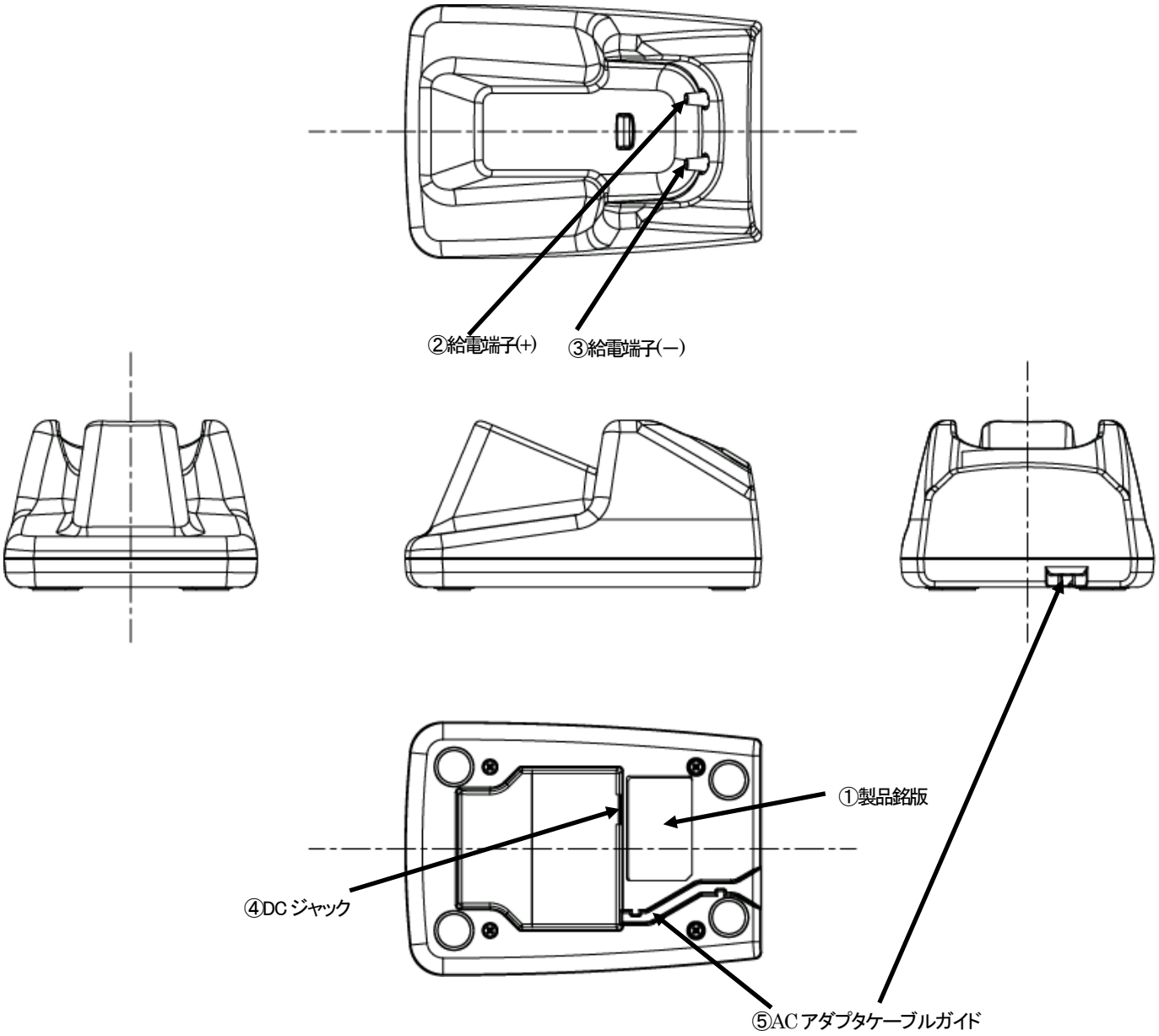
4. 各部の名称と機能

4. 1 OPI-4012(本機)



名　称	は た ら き
①製品銘版	本機製品名、シリアル番号を表示しています。
②FCC ラベル	
③トリガスイッチ	読み取り時に押下してください。
④読み取り窓	読み取り窓です。この内側にカメラモジュール (照明 LED、エイミング LED、受光レンズ内蔵) が搭載されています。
⑤電池蓋	
⑥ストラップ取り付け穴	ストラップ取り付け時はここに結び付けてください。
⑦ブザー音孔	読み取りの良否、その他のエラー発生時に鳴動します。
⑧LED 窓	読み取り状態、データの無線通信状態、 電池残量、および充電状態の表示をします。
⑨DC ジャックキャップ	本機充電用の DC ジャックを保護する為のキャップです。 付属の専用 AC アダプタのプラグを直接接続して充電する時に 取り外して使用します。
⑩充電端子(+)	専用充電台 CHG-4001(オプション)使用時、充電台の給電端子を通して 電源が供給されます。
⑪充電端子(−)	

4. 2 CHG-4001 本機専用充電台、オプション品)



名　称	は た ら き
①製品銘版	
②給電端子(＋)	本機の充電端子に給電します。
③給電端子(—)	
④DC ジャック	専用 AC アダプタを接続します。
⑤AC アダプタケーブルガイド	専用 AC アダプタのケーブルを沿うように取り付けてください。

5. ご使用にあたって

■本機について

・搭載される主電池について

本機は低消費電流状態で出荷されます。初めてお使いの際はトリガスイッチを押し続け、起動してください。
主電池が放電している場合は起動しませんので、使用前に専用 AC アダプタを接続し充電してください。
また、充電台(オプション)に本機を置くことで充電することも可能です。

・LED の表示、ブザーの動作

状態	色	表示	意味	ブザー
充電中	赤	点灯	本機をクレードルに置くと点灯して、充電中であることを表します。(※)	―
	緑	点灯	充電が完了すると赤から緑に変わります。	―
バーコード読取	緑	点滅	バーコードの読取/送信が正常に行われたことを表します。	ピ
	赤	点滅	バーコードデータの送信が出来なかったことを表します。	ピピピ
	橙	点滅	バーコードデータをメモリに蓄積していることを表します。 正常読取音の後、高い音程で鳴動します。	ピッ
Bluetooth 接続	緑	点滅 (連続)	Bluetooth の接続処理中であることを表します。	―
	緑	点灯	Bluetooth の接続が完了したことを表します。	ピロロ、ピ―― (接続完了後)
	赤	点灯	Bluetooth の接続が失敗したことを表します。	ピピピ
Bluetooth 切断	赤	点灯	Bluetooth を切断したことを表します。	ピーロー
	赤	点灯	Bluetooth が圏外で切断されたことを表します。	ピーロー

※電池が十分に充電されている状態では本機をクレードルに置いても LED は赤に点灯しません

・充電時間

仕様	備考
約 3 時間	電池が空状態から満充電に至るまで

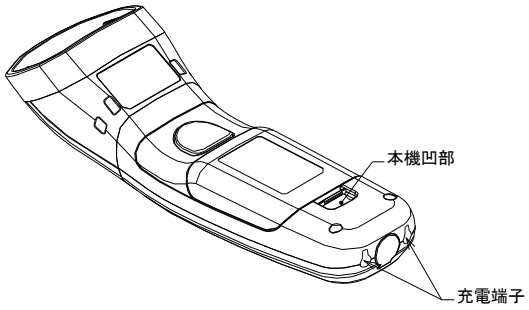
■ハンドストラップについて

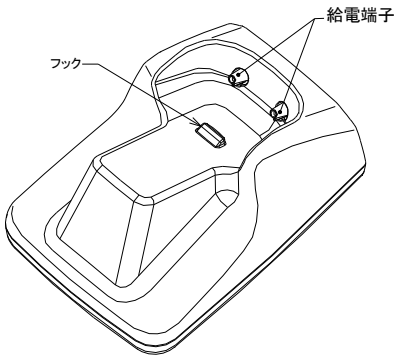
本機を移動するとき、またご使用の時、落下防止用としてハンドストラップをご使用ください。

ハンドストラップは、認証証明ラベルの両脇にある「ストラップ取り付け穴」に結びつけてください。

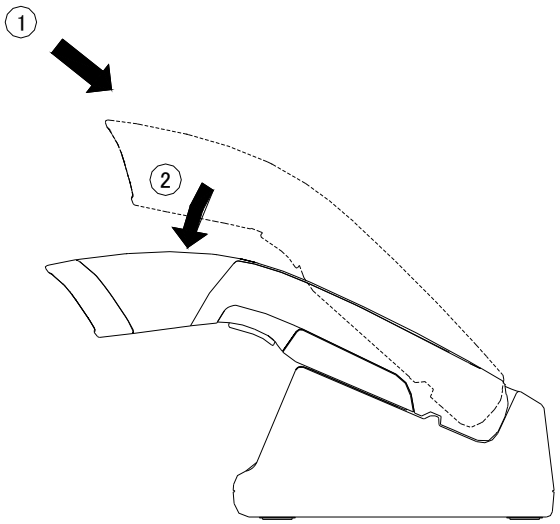
◎ハンドストラップを持って、本体を振り回さないでください。

■オプション品:専用充電台(CHG-4001)での充電方法





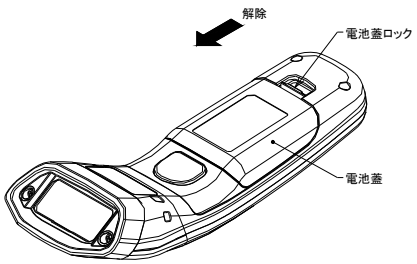
充電台への装着方法

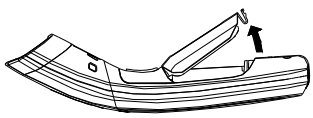


①充電台の給電端子部を本機の充電端子に挿入してください。
②本機の底面の凹部を充電台フックに引っ掛けてください。

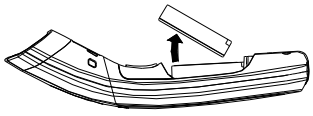
■電池交換方法について

＜電池の取り外し方法＞



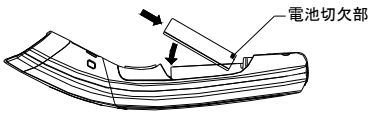


電池蓋ロックを解除し、電池蓋を外してください。

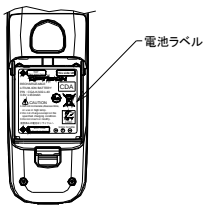


電池を取り出してください。

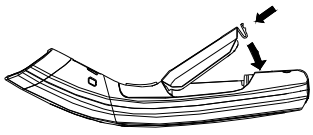
＜電池の取り付け方法＞



電池切欠部と電池ラベル面を確認し電池を装着してください。



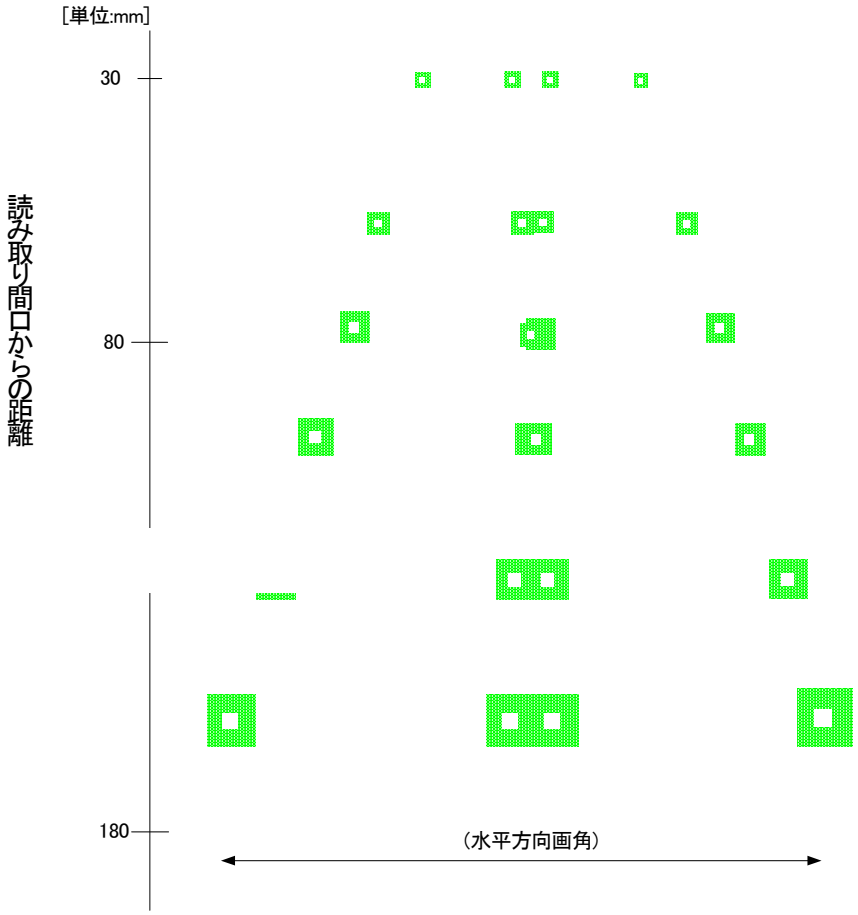
電池装着向き



電池蓋を挿入し、ロック部がカチッと音がするまで押し込んでください。

6. バーコードの読み方

トリガスイッチを押すと照明 LED が発光し、バーコードを読み込みます。
読み取り範囲はエイミングを目安にして調整してください。



＊エイミングは読み取りを補助するためのガイドです。
読み取り範囲、バーコードまでの距離を正確に表すものではないことに注意してください。

※エイミングの使い方

- 読み取り範囲に入るバーコードを読み取る場合は、パターンの中心をバーコードの中心に合わせるようにしてください。
- 幅が広いバーコードでエイミングパターンの外側にはみ出す場合は、バーコードとの距離を離して外側のエイミングパターンに合わせるようにしてください。

● **読み取るバーコードが印刷されている材質によって、正反射の為読み取りができないことがあります。この場合は読み取り面に対し約 15° 程度傾けて読み取りを行ってください。**

7. 無線接続について

7. 1 無線仕様

・本機は無線インターフェイスとして Bluetooth 無線技術を採用しています。Bluetooth 仕様は Ver2.0 準拠で SPP（シリアル・ポート・プロファイル）に対応し、同様のプロファイルが実装された Bluetooth 機器と接続することができます。

■実装プロトコルスタック

RF (Radio Frequency Protocol)
BB (Base Band Protocol)
LM (Link Manager Protocol)
L2CAP (Local Link Control and Adaptation Protocol)
RFCOMM (RS-232C のエミュレーション)

■実装プロファイル

GAP (Generic Access Profile)
SPP (Serial Port Profile)

■送信出力

クラス 2

■通信時の接続構成

1 対 1

※1対 N（多チャンネル）はサポートしておりません

■接続時の動作モード

マスター：OPI-4012（本機）
スレーブ：その他の Bluetooth 機器

■低消費モード

スニフモードはサポートしておりません

■セキュリティと暗号化

セキュリティ認証および暗号化機能をサポートします。他の Bluetooth 機器の認証および暗号化を有効にすることで利用可能です。

■通信距離

約 10m

※通信距離は使用環境によって変動します。特に周囲に障害物がある場合は通信距離が短くなることがあります。

7. 2 メニューバーコードによる機能設定

Bluetooth 機器と接続する場合は、以下の設定を添付のメニューバーコードで行います。メニューバーコードによる設定は接続の前に行って下さい。

- BDアドレス設定　　[必須]
- 接続認証設定
- PIN コード設定
- 暗号化設定
- ACK／NAK制御設定
- ACK／NAK待ち時間

■BD アドレス設定

- 接続する機器を特定する為に設定します。
- 接続機器相手のBluetooth Device Addressを参照しながら0～9、A～Fまでの個別バーコードをコード表から選択して12桁読み込んで下さい。Bluetooth Device Addressは各接続機器の取説又は設定等で確認して下さい。

※　1対N（多チャンネル）はサポートしておりません

※　入力を間違えた場合は再度読み取り開始から入力して下さい。

■接続認証設定

- 接続する機器を特定する為に設定します。
- 認証待ちタイマは30秒に設定されていますので接続機器側でのPINコード入力は30秒以内に入力して下さい。

※　認証有りで接続する場合、必ず接続前にPINコードをメニューバーコードで設定して下さい。

※　認証有りで接続した場合、再接続のときにもPINコードの入力を要求される場合がありますので、そのときは再度PINコードを入力して下さい。認証無しで接続した場合にはPINコードの入力はありません。

■PINコード設定

- 接続認証時に使用するPINコードを設定します。
- 接続機器側でも同じPINコードを入力するか、もしくは設定する必要があります。
- PINコードは数字で有効桁数は1～16桁です。

■暗号化設定

- 暗号化を設定するとデータが秘匿化されます。

※　暗号化設定は接続認証設定有りで有効となります。

※　接続機器が暗号化機能をサポートしていない場合は無効になります。

■ACK/NAK 制御設定

・ホスト機器との通信制御手順について設定します。

・無手順の場合はデータ通信の信頼性が低下しますので、運用時にはACK/NAKを推奨します。

- ✧ Free ACK/NAK（無手順）
- ✧ ACK/NAK

※ 通信圏外になってから圏外検出まで3秒間の遅延が発生しますので、無手順の場合、その間にスキャンしたデータについては失われる可能性があります。

■ACK/NAK 待ち時間設定

・ホスト機器からのACK/NAK待ち時間を設定します。

■接続機器設定内容

・出荷時のデフォルト値は下記のように設定されています。

- ✧ BDアドレス設定　：有り
- ✧ 接続認証設定　：有り
- ✧ PINコード設定　：有り
- ✧ 暗号化設定　：有り
- ✧ ACK/NAK制御設定：無手順
- ✧ ACK/NAK待ち時間：1秒

以下の通信及び接続に関する設定は添付のメニューバーコードで設定します。
必要に応じて設定して下さい。

・自動接続設定
・通信圏外メモリ設定
・データコレクトモード設定
・トリガキーによる接続/切断設定
・接続用トリガキー長押し時間設定
・切断用トリガキー長押し時間設定
・自動切断時間設定
・再接続有効時間設定

■自動接続の設定

・BDアドレスを読んだ後、自動的に接続処理にいくか設定します。

■通信圏外メモリの設定

・通信圏外メモリの設定を「有り」にすると通信圏外での読み取りが可能になりデータはメモリに蓄積されます。

・最大メモリ蓄積サイズは、約100K バイトです。

・通信圏外で読み取り中にメモリフルになると警告音が鳴り、コードの読み取りは出来なくなります。

・蓄積データがある場合は通信圏内に入ると自動的に蓄積データを送信します。

・通信圏外で再送信中（橙LED 点滅）、データクリアメニュー「+−MCLR−+」もしくはIEEEアドレスラベルの読み取り（登録動作）を行うと再送信を中止して、メモリ内部のコードデータは消去されます。

・ 通信圏外動作中にメニュー設定で通信圏外メモリを無しに設定すると内部メモリは消去されます。

※ 圏外メモリを設定しないと圏外での読み取りは出来ません。

※ 自動接続復帰機能は20秒間隔で行われます。

■データコレクトモードの設定

・ 待機時にバーコードの読み込みを有効にして、接続時にメモリされたデータを送信します。

■自動切断時間設定

・ 待機時に自動的にBluetooth接続を切断する時間を設定します。

■再接続有効時間設定

・ 通信圏外になってから自動接続復帰機能が働く時間を設定します。

■初期設定［SO］

・ 出荷時および初期設定の値は以下の様です。

- ✧ 自動接続設定 :有効
- ✧ 通信圏外メモリ設定 :有効
- ✧ データコレクトモード設定 :無効
- ✧ 自動切断時間設定 :無効
- ✧ 自動再接続有効時間設定 :5分

8. 無線設定手順

8. 1 認証無しで接続する場合

① 共通取扱説明書で本機の動作設定、バーコードの読取設定を行います。
出荷設定で使用する場合は必要ありません

② 添付の取扱説明書で通信及び接続に関する設定を行います。(接続機器設定/BD アドレス設定は必須)
・添付のメニューバーコードで[その他の機器]を設定します。
・接続機器側の Bluetooth Device Address を参照しながら添付のメニューバーコード及び直接コードを使用して本機に12桁設定します。
(12桁のアドレスラベルを作成することで通信クレードルと同様の接続方法が可能になります)

③ 下記方法で相手機器と接続します。
・12桁のアドレスラベルをスキャンします。
・[+-CONN-+]接続用バーコードをスキャンします。

④ 本機の緑 LED が点滅して接続を開始します。

⑤ 接続が成功すると緑 LED が点滅から点灯に変わり、成功音が鳴ります。
接続が失敗すると赤 LED が点滅して警告音が鳴ります。→ ※

⑥ バーコードの読み取りが出来ます。

⑦ 下記方法で切断します。
・[+-DISC-+]切断用ラベルをスキャンします。

⑧ 切断と同時に赤 LED が点灯して警告音が鳴ります。

※
・接続機器側の認証設定が[無し]になっているか確認して下さい。
・Bluetooth Device Address を確認して再度メニューバーコードで設定して下さい

8. 1 認証有りで接続する場合

① 共通取扱説明書で本機の動作設定、バーコードの読取設定を行います。
出荷設定で使用する場合は必要ありません。

② 添付の取扱説明書で通信及び接続に関する設定を行います。
(接続機器設定/BD アドレス設定/認証設定/PIN コード設定は必須)
・添付のメニューバーコードで[その他の機器]を設定します。
・接続機器側の Bluetooth Device Address を参照しながら添付のメニューバーコード及び直接コードを使用して本機に12桁設定します。
・認証設定をメニューバーコードで[有り]に設定します。
・PIN コードを添付のメニューバーコード及び直接コードを使用して本機に設定します。
・データを秘匿させる場合はメニューバーコードの暗号化設定で[有り]を設定します。

③ 下記方法で相手機器と接続します。
・12桁のアドレスラベルをスキャンします。
・[+-CONN-+]接続用バーコードをスキャンします。

④ 本機の緑 LED が点滅して接続を開始します。

⑤ 相手機器側に本機に設定した同じ PIN コードを入力します。

・相手機器側で PIN コードを事前に設定できる場合は説明書に従い設定して下さい。

⑥ 接続が成功すると緑 LED が点滅から点灯に変わり、成功音が鳴ります。

接続が失敗すると赤 LED が点滅して警告音が鳴ります。→ ※

⑦ バーコードの読み取りが出来ます。

⑧ 下記方法で切断します。

・[┼DISC┼]切断用ラベルをスキャンします。

⑨ 切断と同時に赤 LED が点灯して警告音が鳴ります。

※

・接続機器側の認証設定が[有り]になっているか確認して下さい。

・Bluetooth Device Address を確認して再度メニューバーコードで設定して下さい

・PIN コードを確認して再度メニューバーコードで設定して下さい。

■注意事項

・ 接続前はメニューバーコード以外読み取ることが出来ません。
[BM1]を設定している場合は読取可能になります。

・ 接続前は12桁のバーコードラベルをBDアドレスとして読み取ります。
[BM1]を設定している場合は注意願います。
接続前 :12桁のバーコードラベル(両脇スペース有り:CODE39) ⇒ BDアドレスとして読み取り
12桁のバーコードラベル ⇒ BDアドレスとして読み取り
接続後 :12桁のバーコードラベル(両脇スペース有り:CODE39) ⇒ BDアドレスとして読み取り
12桁のバーコードラベル ⇒ バーコードとして読み取り

・ 電池電圧が低下すると読み取り時のLEDが赤に変わりますので充電して下さい。

・ 通信圏外や無線が切断されると赤LEDが点灯して警告音が鳴ります。

・ 通信圏外での読み取りはLEDが橙、ブザー音が変わります。

・ 通信圏外メモリ設定が無しの場合、圏外での読み取りは出来なくなります。

・ 通信圏外で読み取り中にメモリフルになると長い警告音が鳴り、バーコードの読み取りは出来なくなります。

・ 通信圏外では5秒間隔で自動的に接続機器へ再接続を試みます。
再接続処理中はバーコードの読み取りが出来なくなります。
接続が復帰すると圏外メモリ設定が有りの場合、内部メモリのバーコードデータを送信します。
再接続が失敗すると警告音が鳴ります。(充電中は再接続が失敗しても警告音は鳴りません)

・ 通信圏外でメニューバーコードの通信圏外メモリを無しに設定すると内部メモリは消去されます。

9. 出荷時の設定

※読み取りバーコードの設定は仕様書及びユニバーサルメニューブックを参照願います。

9. 1　出荷設定(その 1　読み取りバーコード)

読み取りバーコード	読み取り	ﾚﾝｸﾞｽの転送	ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの転送	ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの計算	その他の転送項目	ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽの設定	ｻﾌｨｯｸｽの設定
UPC-A	○	×	○	○		―	CR
UPC-A Add-on	×	×	○	○		―	CR
UPC-E	○	×	○	○		―	CR
UPC-E1	×	×	○	○			
UPC-E Add-on	×	×	○	○		―	CR
EAN-13	○	×	○	○		―	CR
EAN-13 Add-on	×	×	○	○		―	CR
EAN-8	○	×	○	○		―	CR
EAN-8 Add-on	×	×	○	○		―	CR
CODE-39	○	×	○	×	ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ転送しない	―	CR
Tri-Optic	○	×	○	×	ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ転送しない	―	CR
NW-7(CODABAR)	○	×	○	×	ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ転送しない	―	CR
Industrial 2of5	○	×	○	×		―	CR
Interleaved 2of5	○	×	○	×		―	CR
Matrix 2of5	×	×	○	×		―	CR
Chinese Post matrix 2of5	×	×	○	×			
Korean Postal Authority code	×	×	×	○		―	CR
S-CODE	○	×	○	×		―	CR
Telepen	○	×	×	○		―	CR
CODE-93	○	×	―	○		―	CR
CODE-128	○	×	―	○		―	CR
GS1-128	×	×	―	○		―	CR
MSI/Plessey	○	×	○	○	ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ転送しない	―	CR
UK/Plessey	○	×	○	○		―	CR
IATA	○	×	○	×		―	CR
PDF417	○	×	―	○		―	CR
Micro PDF417	○	×	―	○		―	CR
QR CODE	○	×	―	○		―	CR
Micro QR	○	×	―	○			
Data Matrix (ECC200)	○	×	―	○		―	CR
Data Matrix (ECC0-140)	×	×	―	○			
Maxi CODE	○	×	―	○		―	CR
Aztec CODE	○	×	―	○		―	CR
Aztec Runes	×	×	―	○			

（9. 1 続き） 出荷設定 （その 1 読み取りバーコード）

読み取りｺｰﾄﾞ		読み取り	ﾚﾝｸﾞｽの転送	ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの転送	ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの計算	その他の転送項目	ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽの設定	ｻﾌｨｯｸｽの設定
GS1 DataBar Omnidirectional GS1 DataBar Truncated GS1 DataBar Stacked GS1 DataBar Stacked Omnidirectional		○	×	○	○		―	CR
GS1 DataBar Limited		○	×	○	○			
GS1 DataBar Expanded GS1 DataBar Expanded Stacked		○	×	○	○			
Composite EAN	EAN-13 CCA	×	×	○ (※)	○		―	CR
	EAN-13 CCB							
	EAN-8 CCA							
	EAN-8 CCB							
Composite UPC	UPC-A CCA							
	UPC-A CCB							
	UPC-E CCA							
	UPC-E CCB							
Composite GS1 DataBar	CCA	×	×	○ (※)	○			
	CCB							
	Limited CCA							
	Limited CCB							
	Expanded CCA							
	Expanded CCB							
Composite GS1-128	CCA	×	×	―	○			
	CCB							
	CCC							

(注)

1) 「読み取り」欄の「○」は「読み取る」ことを、「×」は「読み取らない」ことを示します。

2) 「ﾚﾝｸﾞｽの転送」欄の「○」は「ﾚﾝｸﾞｽを転送すること」を、「×」は「ﾚﾝｸﾞｽを転送しないこと」を示します。

3) 「ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの転送」欄の「○」は「ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを転送すること」を、「×」は「ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを転送しないこと」を、
「ー」は設定が無い事を示します。

4) 「ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの計算」欄の「○」は「ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを計算すること」を、「×」は「ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを計算しないこと」を示します。

5) 「ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽの設定」欄の「ー」は「ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽの設定が無いこと」を示します。

6) GS1 DataBar :旧称 RSS 、GS1-128 :旧称UCC/EAN128

※:1次元ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ部分について、ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを転送します。

9. 2　出荷設定　（その 2　読み取り設定、トリガ、ブザー、表示 LED）

項目	設定
読み取り桁数	桁指定無し
読み取り方式	単発読み
NW-7のキャラクタ間ギャップチェック	キャラクタの1倍
複数ラベル読み(バーコードのみ)	複数読みしない
トリガスイッチ	有効
読み取り可能時間	2秒
ブザー出力時間	50msec
ブザー周波数	3kHz
ブザー音量	音量1(最大)
インジケータLED出力時間	200msec

9. 3　出荷設定(その 3　通信機能の設定)

項　目		設　定
無線通信機能	接続先設定	Bluetooth機器接続
	通信圏外メモリ(データコレクト)設定	無効
	自動切断時間設定	無効
	自動再接続有効時間設定	5分
	ACK/NAK設定	無手順
	ACK/NAK待ち時間	1秒
	PINコード設定	有効
Bluetooth 接続機能	BDアドレス自動接続機能	有効
	認証接続設定	有効(ペアリング処理自動実行)
	暗号化設定	なし

10. 設定用メニューバーコードについて

本機の出荷設定のメニューを記載しています。

設定変更を行う場合、メニューバーコードから設定したいバーコードを順番に読み取ってください。
※同じ設定項目を複数読み取った場合は最後に読み取った内容が有効となります。

読み取りコードの指定、読み取り条件、本機の動作設定はユニバーサルメニューブックで設定してください。

〈出荷時初期化設定〉

設定用メニューバーコード			備考
設定開始	ZZ		
初期設定	SO		
設定終了	ZZ		

〈通信及び接続に関する設定・BD アドレス設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
BDアドレスの設定	BDAS	入力開始		
	BDAE	入力終了		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・BD アドレス個別バーコード〉

0				
			9	
1				
			A	
2				
			B	
3				
			C	
4				
			D	
5				
			E	
6				
			F	
7				
8				

[ZZ]⇒[BDAS]⇒[12桁入力]⇒[BDAE]⇒[ZZ] の順で設定して下さい。

入力を間違えた場合は[BDAS]からやり直して下さい。

〈通信及び接続に関する設定・接続認証設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
接続認証の設定	AUTE	**<u>認証有り</u>**		
	AUTD	認証無し		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・暗号化設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
暗号化の設定	ENCE	**<u>有り</u>**		
	ENCD	無し		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・PIN コード設定〉

設定用メニューバーコード			備考
設定開始	ZZ		
PINコードの設定	PINS	入力開始	
	0		
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	PINE	入力終了	
設定終了	ZZ		

〈通信及び接続に関する設定・自動接続設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
自動接続の設定	**ENAU**	**接続する**		
	DIAU	接続しない		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・圏外時データメモリ設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
通信圏外の設定	**DTME**	**メモリする**		
	DTMD	メモリしない		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・データコレクトモード設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
データコレクト モードの設定	BM1	コレクトする		
	BM0	**コレクトしない**		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・自動切断時間設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
自動切断時間	**AD00**	**無効**		
	ADS1	10秒		
	ADS2	20秒		
	ADS3	30秒		
	ADS4	40秒		
	ADS5	50秒		
	ADM1	1分		
	ADM2	2分		
	ADM3	3分		
	ADM4	4分		
	ADM5	5分		
	ADM6	6分		
	ADM7	7分		
	ADM8	8分		
	ADM9	9分		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・自動切断時間設定（つづき）〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
自動切断時間 （続き）	AD01	10分		
	AD02	20分		
	AD03	30分		
	AD04	40分		
	AD05	50分		
	AD06	60分		
設定終了	ZZ			

〈通信及び接続に関する設定・自動再接続有効時間設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
自動再接続有効時間	CA00	無し		
	CA01	1分		
	CA02	2分		
	CA03	3分		
	CA04	4分		
	CA05	**5分**		
	CA06	6分		
	CA07	7分		
	CA08	8分		
	CA09	9分		
	CA10	10分		
	CA11	11分		
	CA12	12分		
	CA13	13分		
	CA14	14分		
	CA15	15分		
	CA99	無効 （切断検出後、待機状態になります）		
設定終了	ZZ			

〈通信に関する設定・ACK/NAK 制御設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
ACK/NAK 制御の設定	**P5**	**無し**		
	P3	有り		
設定終了	ZZ			

〈通信に関する設定・ACK/NAK 待ち時間設定〉

設定用メニューバーコード				備考
設定開始	ZZ			
ACK/NAK 待ち時間の設定	I5	100ms		
	I6	500ms		
	I7	**1s**		
設定終了	ZZ			

〈メモリ消去用〉

消去用	+−MCLR−+	

※圏外メモリ機能やデータコレクトモードでメモリされた全てのバーコードデータを消去します。

〈接続／切断用〉

接続用	+−CONN−+	
切断用	+−DISC−+	

◎下記設定の詳細は共通取扱説明書のメニューバーコードで設定して下さい。

・読み取りバーコード及び読み取り条件

・本機の共通動作設定

株式会社オプトエレクトロニクス
OPTOELECTRONICS Co., Ltd.

OPI-4012　取扱説明書

本社・営業	〒335-0002 埼玉県蕨市塚越4-12-17 TEL.(048) 446-1183 FAX.(048)446-1184